

子ども支援ネットワーク 協働事業体イメージ図

子どもにやさしい
まちづくりの実現のため

- 子どもの権利が保障される
地域・社会づくりを目指します
- 県及び各市町で行政・企業・NPO等の
協働を推進し、地域での子ども支援
ネットワークづくりを進めます

協働事業 (プロジェクト)

- 第1 チャイルドラインMIE
- 第2 子ども虐待防止
- 第3 協働のテーブル
- 第4 子ども支援フォーラム
- 第5 こどもほっとダイヤル
- 第6 社会的養護の社会化フォーラム
- 第7 里親支援・ネット相談
- 第8 子どものポータルサイトの充実
- 第9 ICT活用による事業の拡充

子どもの心を受け止める ネットワークみえ

協定書



協定書署名団体 ~行政と民間含め協定に合意署名した団体~
※行政の部署名は署名時ではなく現在の名称です。

- 三重県子ども・福祉部少子化対策課
- 三重県子ども・福祉部子育て支援課
- 三重県教育委員会事務局教育総務課
- 三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課
- 特定非営利活動法人三重ダルク
- 特定非営利活動法人三重いのちの電話協会
- 特定非営利活動法人フリースクール三重シュール
- 特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター
- CAPみえ ● NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市
- NPO法人四日市まんなかこどもステーション
- 子育て広場・ドロップin ● 特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿
- 特定非営利活動法人津子どもNPOセンター
- 特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター
- 特定非営利活動法人三重みなみ子どもネットワーク
- 特定非営利活動法人こどもステーションくまの
- 特定非営利活動法人みえ親子・人間関係研究会

※協定に基づき「チャイルドラインMIE」等の協働事業から見てきた子どもの
状況を施策、事業に活かします。

認定NPO法人

チャイルドヘルプラインMIEネットワーク

加盟団体 (2019年3月現在9団体)
~民間のみで構成~

- 特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター
- NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市
- NPO法人四日市まんなかこどもステーション
- 子育て広場・ドロップin
- 特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿
- 特定非営利活動法人津子どもNPOセンター
- 特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター
- 特定非営利活動法人三重みなみ子どもネットワーク
- 特定非営利活動法人こどもステーションくまの

※子ども専用電話「チャイルドラインMIE」「こどもほっとダイヤル」及びイ
ンターネットを利用した「オンライン相談(チャット)」「子ども専用メー
ル」「MIEちゃんに聞いてみよう」等を実施しています。

※三重県内7ヶ所(四日市北部・川越・朝日、四日市中南部・菟野、鈴鹿、
津、松阪、伊勢、熊野)に実施拠点を置き、約570名のボランティアに
より実施運営されています。



行政と民間 の協働

2003年NPOからの協働事業提案「行政と民間
(NPO)協働でつくる子どもの心を受け止める24
時間フリーダイヤル相談電話設立に向けての段階
的アプローチ」を特定非営利活動法人MIEチャ
イルドラインセンターが三重県に提案、採択される

子どもの心を受け止めるネット
ワークみえ協定書発効・「チャイル
ドライン24」実施組織(チャイルド
ヘルプラインMIEネットワーク)設
立(2005年4月20日)

2005、2006年度行政としての
資源分担は、パートナー
シップ委託形態をとった。(子
どもの心を受け止める相談
電話事業業務委託 現在終了)

● 現在も協働事業を継続中
NPO:実施、研修、広報、ファンド等
行政各部署:募金協力、実施研修会場
押さえ、広報カード配布協力、年次報
告編集参加、研修講師派遣等

★「とぎれのない支援」
★「子どもの権利条例づくり」
次世代育成・子ども子育て支援
新制度等子ども施策への提言

「こどもほっとダイヤル」
(県子ども条例に基づく
チャイルドヘルプライン)
開始(2012年2月~)

2016年度より子ども専用
メール、オンライン相談
(チャット)試行、2017年度
MIEちゃんに聞いてみよう
開始

2017年度「社会的養護の
社会化フォーラム」を開催
事務局担当

2018年度 里親支援事業
の実施、オンライン相談常
設化等ネット相談の充実

2019年度 フォスタリング事業の
実施、MIEちゃんにきてみよう等
の子どものポータルサイトの充実

2020年度 コロナ禍の中、子ども支援者
養成講座や里親シンポジウムのオン
ライン配信等、ICT活用による事業の拡充